

報告第25号

株式会社大島町中央商店街振興公社令和4事業年度事業計画及び予算  
並びに令和3事業年度決算報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、株式会社大島町中央商店街振興公社の令和4事業年度事業計画及び予算並びに令和3事業年度決算について、次のとおり報告する。

令和4年9月2日

西海市長 杉澤 泰彦

## 第25期事業計画概要説明

第25期の事業計画といたしましては、前期同様、大島町内の商業の振興によって地域経済の活性化の推進と魅力ある地域づくりに寄与するという当公社の設立目的に沿って、事業運営を行って参ります。

近年、弊社を取り巻く環境は、町外への大型店の出店による購買力流出の影響などにより大変厳しい状況ではありますが、この状況に的確に対応し、市当局と連携を図りながら、効果的な経営戦略を展開して参りたいと考えております。

令和4年3月31日現在の入居状況につきましては、所有テナント17区画、177坪の内、7区画、90坪を6事業者に貸付けており、10区画、87坪が空き店舗という現状となっております。

また、テナントの中には経営状況が厳しい事業者や、高齢の事業者もあるため、さらに空き店舗が発生する恐れも含んでおります。

さらに、施設は建設後21年を経過し、老朽化に伴う維持管理や補修等に多額の経費を要することが予想されることから、当社の目的に則した魅力ある地域づくりのためのアイデアや空き店舗への入居者誘致のため、(株)西海クリエイティブカンパニーを事業委託先として選定し、賑わいの創出やSNSを活用した入居者募集や一時貸出の広報を強化することといたしました。

第25期の損益計画につきましては、営業収入として、現在入居中の6事業者分の家賃収入を4,165千円、電気水道料等を含んだ共益費収入を3,370千円、催事場の一時貸出家賃収入を前期比294千円増の540千円と見込み、合計8,075千円を計上しております。

また、経費につきましては、販売費及び一般管理費として、水道光熱費・修繕費など前年度の実績を踏まえて6,305千円を計上しております。

以上の結果、損益計画における税引き前当期利益としては1,771千円を見込んでいます。

資金計画につきましては、法人税等の支払額を前年度の実績を踏まえて323千円、西海市への長期借入金の返済にかかる支払額を2,400千円と見込んでいます。

市への長期貸付金の返済財源としては、減価償却費1,760千円、税引き前利益1,771千円を併せた3,531千円を見込んでおり、期末の現預金残高は808千円と試算しております。

以上が年度当初計画であり、本年5月に取締役会で承認した概要となります。

損益計画

自 令和4年4月 1日  
至 令和5年3月31日

科目	金額	
(営業損益の部)		千円
<b>[純売上高]</b>		
家賃収入	4,165	
共益費収入(電気水道料等含む)	3,370	
一次貸出家賃収入	540	8,075
<b>売上総利益</b>		( 8,075)
<b>[販売費及び一般管理費]</b>		
減価償却費	1,760	
修繕費	140	
水道光熱費	1,080	
支払手数料	240	
租税公課	420	
保険料	230	
諸会費	40	
楽市管理費	1,050	
地代家賃	700	
事務委託費	600	
通信費	10	
会議費	5	
消耗品費	20	
雑費	10	6,305
<b>営業利益</b>		( 1,770)
(営業外損益の部)		
<b>[営業外収益]</b>		
受取利息	1	1
<b>経常利益</b>		1,771
<b>税引前当期純利益</b>		1,771

資 金 計 画

自 令和4年4月 1日  
至 令和5年3月31日

科目	金額	
〔期首現預金残高〕		千円 15,061
〔営業活動によるキャッシュフロー増加〕		
税引前当期純利益	1,771	
減価償却費	1,760	
キャッシュフロー増加額（収入額）		3,531
収入合計		( 18,592 )
〔法人税等の支払額〕	323	323
〔財務活動によるキャッシュフロー減少〕		
長期借入金による支出	2,400	2,400
支出合計		( 2,723 )
〔期末現預金残高〕		15,869
現預金増減額		808

[報告事項]

第24期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）営業報告の件

## 第24期営業報告書

株式会社大島町中央商店街振興公社

当社は、大島町の小売商業の振興及び地域活性化を図ることを目的として平成10年10月に設立され、小売商業等共同店舗の管理運営等により商店街の活性化と魅力ある地域づくりに寄与することを目指しています。そのため、平成11年7月に「大島楽市ショッピングセンター」を整備して、商業集積による購買力の町外流出防止と新たな中小商業者の振興及び地域経済発展に取り組んで来ました。

過年度から空き店舗対策に苦慮していますが、今期は、入居・退去とも無く、現在、所有テナント17区画177坪の内、6事業者へ7区画90坪を賃貸しており、10区画87坪が空き店舗という状況です。

また、テナントの中には経営状況が厳しい事業者や、高齢の事業者もあるため、さらに空き店舗が発生する恐れも含んでおります。

さらに、施設は建設後約21年を経過し、老朽化に伴う維持管理や補修等に多額の経費を要することが予想されることから、当社の目的に則した魅力ある地域づくりのためのアイデアや空き店舗への入居者誘致のため、(株)西海クリエイティブカンパニーを事務委託先として選定し、賑わいの創出やSNSなどを活用しながら入居者募集や一時貸出などの広報を行なってまいりました。

さて、第24期の経常損益につきましては、家賃・共益費収入が前期比3・4%増、営業利益が前期比13%増となりました。入居者の変動はありませんが前年度より若干ではありますが、一時利用が増加したことが影響しております。

今後考えられる点で、現在もコロナ禍での状況のため営業自体厳しい部分が見受けられること、そして建物の老朽化に伴い修繕を行う必要があることなど考えられますが、事業者と共に 共有しながら、今後も健全な運営を図りつつ、初期の目的に沿って事業を継続して参りたいと存じます。

株主各位におかれましては、さらに一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 財 産 目 録

令和4年3月31日

## 資産の部

(単位：円)

勘定科目	残高	備考
1. 流動資産	16,925,890	
(1) 現金	0	
(2) 預金	15,061,404	親和銀行大崎支店
(3) 未収金	1,834,486	家賃・共益費3月分 電気・水道料2,3月分 他
(4) 立替金	30,000	
2. 固定資産	60,675,337	
(1) 有形固定資産	25,681,888	
① 建物	23,680,545	
イ. 楽市 建築主体工事		
② 建物付属設備	1,807,316	
イ. 楽市 電気工事		
ロ. 楽市 給排水衛生設備		
ハ. 楽市 空調換気設備		
③ 構築物	194,027	
イ. 楽市 外構工事		
ロ. 楽市 サイン工事		
ハ. 楽市 上下水道移設工事		
ニ. 楽市 ガードフェンス		
(2) 無形固定資産	34,993,351	
① 借地権	34,993,351	西海市大島町1846-1
(3) 投資その他の資産	100	
① 出資金	100	
資産合計	77,601,229	

## 負債の部

(単位：円)

勘定科目	残高	備考
1. 流動負債	1,035,307	
(1) 未払金	711,807	電気・水道料2,3月分
(2) 前受金	0	
(3) 未払法人税等	323,500	
(4) 未払消費税	0	
(5) 預り金	0	
2. 固定負債	24,112,896	
(1) 長期借入金	23,238,996	当初借入 141,596,700 償還累計 118,357,704
(2) 預り敷金	873,900	6件分
負債合計	25,148,203	

差引正味財産	52,453,026	
--------	------------	--

## 損益計算書

自 令和 3年4月 1日  
至 令和 4年3月31日

科目	金額	
	円	円
<b>【純売上高】</b>		
家賃収入	4,703,820	
共益費収入	3,382,848	8,086,668
売上総利益		( 8,086,668 )
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		6,256,979
営業利益		( 1,829,689 )
<b>【営業外収益】</b>		
受取利息	160	160
経常利益		( 1,829,842 )
税引前当期利益		( 1,829,842 )
法人税住民税及び事業税		583,722
当期純利益		( 1,246,120 )
前期繰越利益		36,206,906
当期未処分利益		37,453,026

## 損益計算書注記事項

1株あたりの当期純利益 4,153円  
消費税等の会計処理 税込方式

販売費及び一般管理費

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

科目	金額	
	円	円
減価償却費	1,760,743	
修繕費	134,420	
水道光熱費	1,078,723	
支払手数料	236,720	
租税公課	421,900	
保険料	227,410	
諸会費	35,000	
楽市管理費	1,048,223	
地代家賃	694,068	
事務委託費	600,000	
通信費	2,504	
会議費	867	
消耗品費	16,401	
雑費	0	
合計		( 6,256,979 )

## 利益処分計算書

科目	金額
【当期未処分利益】	37,453,026円
【次期繰越利益】	37,453,026円

上記のとおりご報告申し上げます。

令和 4年 5月 27日

株式会社大島町中央商店街振興公社

代表取締役社長 山崎 善仁